

報道関係各位

2010年(平成22年)11月18日

株式会社オリコム
代表取締役社長 正盛和彦

オリコムが制作した「富士通株式会社 企業広告」が 「第45回 日本産業広告賞」において入賞しました

株式会社オリコム(本社:東京都港区、社長:正盛和彦、資本金1億6,500万円)が制作した、富士通株式会社の企業広告が、日刊工業新聞社が主催する「第45回 日本産業広告賞」において、新聞部門第1部(スペース30段以上)で第2席を受賞しました。

今回受賞した新聞広告は、2010年9月15日に掲載した広告で、国際共同プロジェクトの「アルマ計画」を富士通が支えていることを紹介したものです。

企画意図:

テーマである国際共同プロジェクト「アルマ計画」は多数の電波望遠鏡で受信した星々からの膨大な情報を解析し謎を解明していきます。それは「宇宙の謎」というジグソーパズルのピースを一つ一つ当てはめていることにも似ています。そして富士通の技術によって宇宙の解明という人類の夢のパズルがもうすぐ完成するというメッセージにしました。

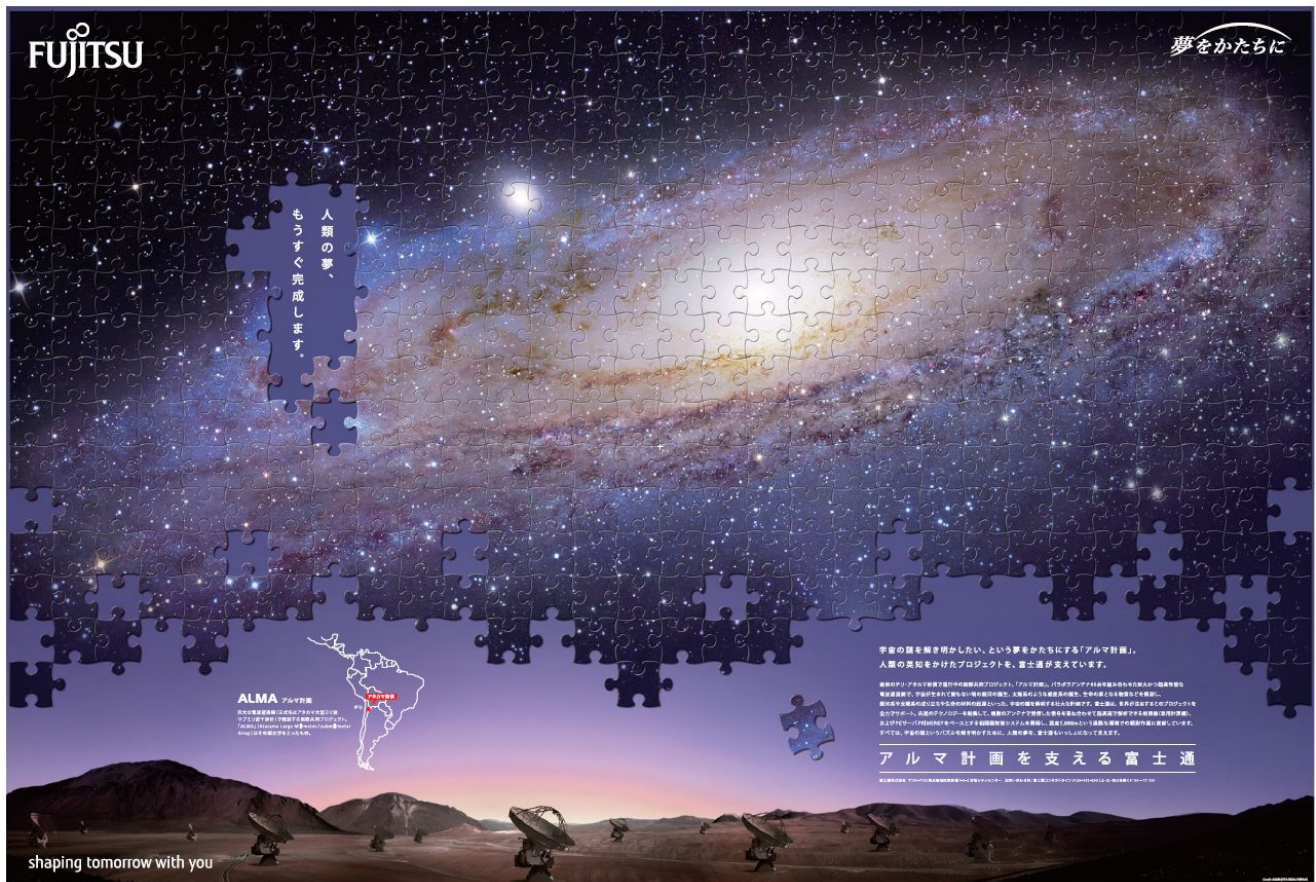
日本産業広告賞は日刊工業新聞社が産業広告の健全な発展と質的向上を図る目的から、1966年に制定以来毎年実施しているものです。

※本リリースに関するお問い合わせは、下記までお願い致します。

株式会社オリコム 経営企画局 大澤、北澤

TEL:03-6733-2021

写真： 新聞広告 30段・カラー



キャッチコピー： 人類の夢、もうすぐ完成します。

ボディコピー：

宇宙の謎を解き明かしたい、という夢をかたちにする「アルマ計画」。

人類の英知をかけたプロジェクトを、富士通が支えています。

南米チリ・アタカマ砂漠で進行中の国際共同プロジェクト、「アルマ計画」。パラボラアンテナ 66 台を組み合わせた巨大かつ超高性能な電波望遠鏡で、宇宙が生まれて間もない頃の銀河の誕生、太陽系のような惑星系の誕生、生命の素となる物質などを観測し、銀河系や太陽系の成り立ちや生命の材料の起源といった、宇宙の謎を解明する壮大な計画です。富士通は、世界が注目するこのプロジェクトを全力でサポート。先進のテクノロジーを結集して、複数のアンテナで受信した信号を重ね合わせて超高速で解析できる相関器（専用計算機）、および PC サーバー PRIMERGY をベースとする相関器制御システムを開発し、高度 5,000m という過酷な環境での観測作業に貢献しています。すべては、宇宙の謎というパズルを解き明かすために。人類の夢を、富士通もいっしょになって支えます。

アルマ計画を支える富士通